



Koryo 陵 雲 High School

〒081-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-48-9077
https://koryo-high-school.com / Eメール koryo@chibagakuen.ac.jp



《3部リーグを振り返って》 サッカー部顧問・監督 山本 真也
今年度、青森県3部リーグ全10戦全勝で来年度の2部リーグ昇格を決めました。昨年度はあと一歩だったので、念願が叶い嬉しい気持ちと同時に、来年はさらに鍛えてチーム力を上げていかないとすぐ3部リーグに落ちてしまうという危機感も感じました。最終節、昇格を決めた野辺地西戦では、今年のベストゲームと言えるほど、攻撃は爆発し、守備が奮闘してくれました。5対2で勝ちました。スコア以上にチームと個人の成長が見られ、頼もしく感じました。残る選手権大会では、今年のベストゲームをさらに更新し、目標であるベスト4に入れるように頑張ります。

3部リーグ最終戦 全勝同士の戦いを制す

野西3rd 下し 全勝



2部リーグ昇格

○8月19日(金) 向陵 5-2 野西3rd
【得点】2年 徳田 琉星(静岡市立蒲原中学校出身) 2
3年 大下 徳美(名川中学校出身)
2年 細越 朝陽(第一中学校出身)
2年 有川 輝優(小田原市立国府津中学校出身)



▲8月7日撮影 写真部
3年 蟹沢 愛花(第一中学校出身)
選手たちの躍動感をもっと表現したいです。



○8月7日(日) 向陵 3-1 八戸
【得点】1年 佐々木聖空(千葉市立千城台西中学校出身) 2
3年 大下 徳美(名川中学校出身)
《3部リーグ後期第5節〜第7節結果》
○7月24日(日) 向陵 10-1 三本木
【得点】2年 宮古 理人(湊中学校出身) 3
2年 徳田 琉星(静岡市立蒲原中学校出身) 2
2年 細越 朝陽(第一中学校出身) 2
3年 大下 徳美(名川中学校出身)
2年 有川 輝優(小田原市立国府津中学校出身)
2年 山家 昌悟(平塚市立土沢中学校出身)

《3部リーグを振り返って》
部長 3年 梅内 拓真(名川中学校出身)
3部リーグは、全勝して2部リーグに上がることができチーム目標を達成することができました。難しい試合もありましたが、チーム皆で乗り越えてきたと自負しています。最後の野辺地西戦は、自分たちがやりたいサッカーができました。まだ細かい課題はありますが、調整して次の試合に臨みたいと思います。校長先生はじめ先生方、保護者の方々、いつも差し入れや応援ありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。皆さんから、愛されるサッカー部であり続けられるよう頑張りますので、これからも応援よろしくお願いいたします。

副部長 2年 山家 昌悟(平塚市立土沢中学校出身)
まず前期は、新チームになり不安もありましたが、全ての試合に勝ち一位で後期リーグに進出できたことで、チームとしての自信ができました。
後期リーグに入ると、相手チームのレベルが上がったり、ケガ人が出たりして、苦しい試合もありました。その中で後期も全勝し、昇格できたことでチームの成長が見え、とても嬉しかったです。さらに成長し、新人戦や選手権で良い結果を残せるように頑張ります。



▲8月7日撮影 写真部
2年 戸田 裕樹(下長中学校出身)
防球ネットがあるので撮影が難しかったです。

ボランティア活動参加

夏休み期間を利用して、ボランティア活動を行った生徒たち。3年生の多くは、これまで何度かボランティア活動に申し込んだものの、新型コロナウイルスの影響で中止になったり、人となるべく関わらない活動が中心だった。しかし、今年はwithコロナということで、少しずつではあるが、活動の幅も広がりを見せてきている。ボランティア活動は初めてという生徒も、何度か経験している生徒も実際にやった人にしか味わえない「実感」をかみしめている。

《生徒感想》「青少年のための科学の祭典ボランティア」

1年 類家 茉純(根城中学校出身)

私は、中学生の頃、新しいことにチャレンジすることをしませんでした。でも、何かの役に立つことをしたい、中学校の頃、やれなかったことをしたいと思い、ボランティアに応募しました。実験内容を書いた紙を切り、貼る作業をしました。私は器用ではないので、切る作業は慎重に行いました。また、壁に貼る作業では、ペーパーになった人と曲がらないように確認しながら貼りました。一人ではできない作業も協力することで、できることがたくさんあり、新しいことにチャレンジするのも悪くないと感じました。「ボランティア」なのですが、学ぶことが多かったのも、次も参加したいです。

3年 伊藤 みんと(白山台中学校出身)

科学の祭典ボランティアは、二回目の参加となります。一回目は準備だけでしたが、今回は二日とも小学生を対象としたお手伝いでした。19個ある体験コーナーの中で担当したのは「電気を体験してみよう」というコーナーです。東北電力の社員の方と一緒に作業しました。私は、ボランティアを始める前に、担当する仕事内容をよく聞くこと、子供の視点で考えることを決めました。また、第一印象にも気をつけました。表情が乏しかったり、だからだらし態度では子供は来ません。どんな仕事でも相手に合わせて「聞く」「話す」「領く」といったことができる、仕事があまくいくそうです。進路の面接試験にも生かしていきたいです。

3年 馬場 慈侑生(下長中学校出身)

今回、このボランティアを通して感じたことは団結力で、さまざまな作業を通して大人や他校の生徒と交流して、協力することの大切さはもちろんのこと、一つの目標に向かって肩書きや学校、年齢関係なく誰かのために動いている時間が心地よかったです。コロナで思うように人と関わることができなかった高校生活でしたが、改めて皆で何かをすることができたらと思います。もっと人との関わりを深めることができたらと思います。困っている人、助けが必要な人に手を差し伸べられるような人になりたいです。

《生徒感想》「第42回花火大会ボランティア」

3年 淡路 凜空(第三中学校出身)

私は、初めて花火大会のボランティアに参加しました。



最初は会場のバリケードを作るだけの簡単な作業だと思っていました。しかし、実際に作業してみるとそのようなことはなく、トラックからバリケードを組み立てるのに必要なものを降ろすだけで一時間かかりました。やっている途中で腕が痛くなりましたが、次はバリケードを作って移動させる作業があり、どの作業も大変でした。これまで何気なく見ていた花火大会ですが、運営するまでに多くの人の頑張りがいるのだと思いました。

3年 石藤 佑季(根城中学校出身)

私は、花火大会の駐車場とみる場所の草集めをしました。ボランティアに参加した他校の生徒と協力し合って、指定された時間より早く終わることができました。前日までの雨の影響で草が濡れていて重労働になったけれど、楽しく活動することができました。次回も他校の人とうまくコミュニケーションを取って活動できればと思います。

3年 岩沢 菜々子(鮫中学校出身)

午前は、バリケードを並べ、午後は間隔をつめながら調整していく作業をしました。いくつかの班に分かれて熱中症に気をつけながら行いました。中学生の割合が多かったです。なので積極的に話しかけ自分からコミュニケーションを取るよう心がけました。今回のボランティアでは、「自分から行動する」という目標を事前に立てて参加しました。しかし、午前は良かったのですが、午後は言われてから動くことが多かったんです。日常生活でも同じようなことがあるので、次回はたくさんの方の役に立てるようもっと頑張りたいです。

3年 大村 若菜(鮫中学校出身)

暑い中、共同作業で会場設営の仕事をしました。何往復もして鉄パイプを運びました。二年越しの花火大会ということで担当の方々の思いをひしひしと感じました。また、私たちボランティアの人が楽しく活動できるようにとコミュニケーションを交えて指導して下さったおかげで楽しい活動になりました。夜、花火大会に行き八戸の人々のにぎわいを見て、自分とその笑顔に少しでも携わることができたのだと感動しました。花火が終わった後の片付けは、深夜2時まで続くと知り、裏方の苦労を知ることができました。

3年 栗原 美虹(第三中学校出身)

私は、八戸花火大会ボランティアに参加しました。いつ



もは、学校内でのボランティア活動しかできていなかったのですが、とても新鮮に感じました。大量の雑草取りをしたのですが、思いの外、たくさんの雑草があり片付けるのが大変でした。花火を見る人のために、毎回このような作業をしているのかもしれないとも思いましたが、思いがたく思いました。また、機会があれば参加したいと思っています。

3年 蟹沢 愛花(第一中学校出身)

1年生の時からボランティア登録し、ことごとく申し込んだボランティアが中止となって、3年目にしてようやく活動できました。人と関わるボランティアができませんが、誰かの役に立つことをすると本当に気持ちがいいです。残り少ない高校生活、もっともって何かしたいです。

3年 鈴木 篠(大館中学校出身)

花火大会では、千三百本のパイプを運びました。組立てをして、二人一組で作業を行いました。何に使うのかわからなかったのも、二日目のボランティア参加者に聞いたところ、屋台の通路に使っていたとのことでした。当日、花火大会に行き近くで花火を見ることができました。自分が役に立ったのだと嬉しかった達成感がありました。暑い中、作業していたボランティアの方々のおかげです。

3年 山内 摩耶(東中学校出身)

私は、八戸花火大会の会場設営をしました。鉄パイプを何本も運び、並べる仕事をしました。作業自体は大変でしたが、中学生や他の高校生と話したり、協力して動くことができたので楽しかったです。誰かの役に立っているというやりがいを感じることもできましたし、やってよかったと思えました。大人になっても参加したいです。

3年 高橋 宏輔(大館中学校出身)

バリケードの設置、補充で午前が終了しました。昼食後、カラーコーンを並べ紐で繋げる作業を行いました。ボランティアの最後、会長さんのお礼の言葉が嬉しかったです。花火を見に行ったとき、自分たちが作ったバリケードやカラーコーンが役に立っているのを見て、少し誇らしい気持ちになりました。

漢字検定合格者

準2級 岩沢 菜々子(3年・鮫中学校出身)

3級 小向 香穂(2年・三条中学校出身)

佐藤 仁紀(2年・白山台中学校出身)

榎館 謙信(2年・船橋市立宮本中学校出身)

前田 七海(2年・第三中学校出身)

野坂 琉偉(2年・白山台中学校出身)

久保市 稜(3年・江陽中学校出身)

馬場 慈侑生(3年・下長中学校出身)



文化祭ポスター決まる



8月26日(金)、全校投票で今年度の文化祭ポスターが決定した。ダントツの得票数でポスターに採用されたのは、高清水里桜さん(2年・南浜中学校出身)の作品。高清水さんは、昨年も文化祭ポスターに採用されており二年連続での受賞となる。「雲外蒼天」のテーマで開催される今年度の文化祭まで残り一か月。前回同様、規模を縮小して一日開催となる。一般公開の予定はないが、保護者のみ決まった時間に校内展示を閲覧可能にしている。縮小された文化祭しか知らない3年生は、去年中止(ポスター展のみ実施)となったため、今年は二度目、そして最後の文化祭となる。

《文化部部長から》

華道部 3年 鈴木 篠(大館中学校出身)

昨年は、華道展のアイデアだけで終わってしまったので、今年は最後の文化祭としてきちんと形にしたいです。今年初めてとなる1年生には楽しんで展示に取り組んでもらえたらと思います。

写真部 3年 馬場 慈侑生(下長中学校出身)

今年は部員も増え、昨年できなかった分、撮りためた写真もいっぱいあります。部員一人一人の成長を見てもらいたいです。

美術部 2年 高清水 里桜(南浜中学校出身)

去年作成できなかったテーマ看板を作成中です。大きさに戸惑いながらも皆で協力して頑張っています。イラスト展もぜひ見に来てください。

大鼓部 3年 高橋 繭莉(三沢第二中学校出身)

今年は部員が増えたので、これまでと違った一体感と迫力に注目してほしいです。皆の前で披露できることを部員全員が嬉しいと話しているの、その気持ちを演奏に生かされたいと思います。

軽音楽部 3年 一本松 颯太(白山台中学校出身)

1年生がステージデビューします。そして、昨年中止のため文化祭の演奏ができなかった2年生もデビューです。3年生は最後の文化祭。皆で練習してきた音を合わせて発表できます。演奏できる場をありがとうございます。

